

# 岩手の復興と再生、今後の課題



『東日本大震災 IATSS  
特別シンポジウム』

2011年 11月3日

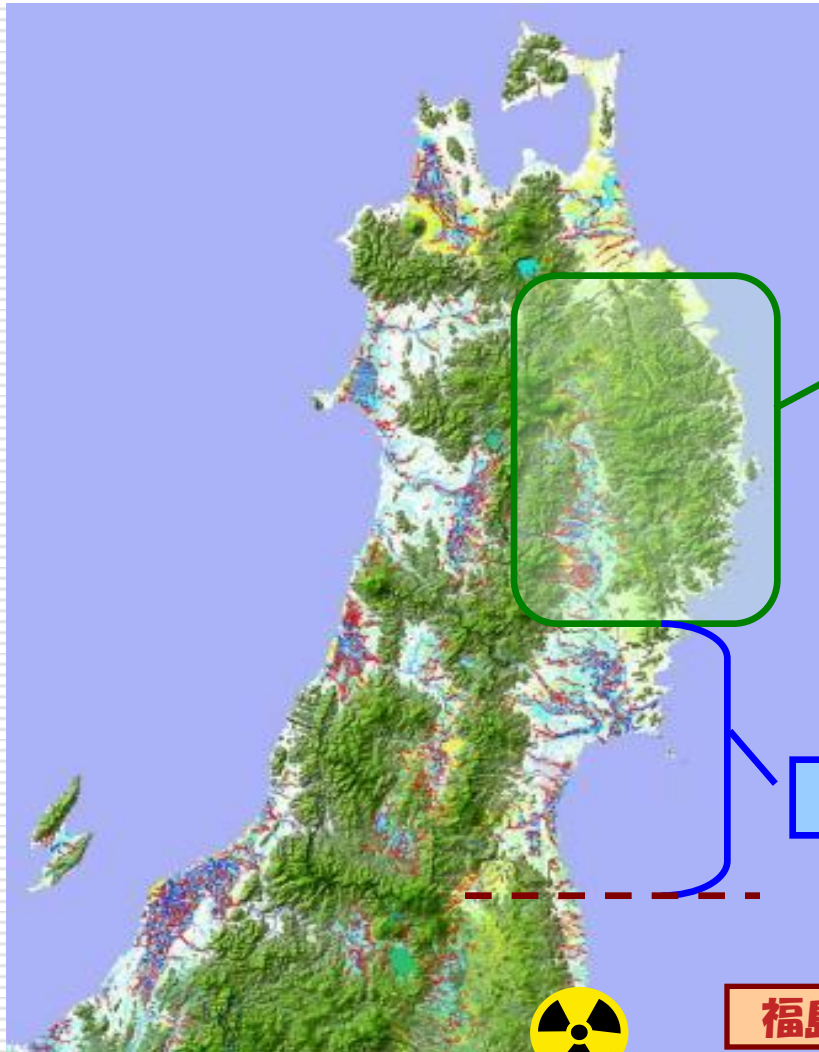
藤井 克己

岩手県東日本大震災津波

復興委員長

岩手大学長

# 東日本大震災の特徴（阪神淡路大震災との比較で）



岩手県

宮城県

福島県

## ★津波被害が深刻

地区内でも被災の差が激しい  
（身一つに・・・元の土地に戻れず）

## ★被災地が広域に及ぶ

地区間で被災の差が激しい

## ★農林水産業が基盤

近隣に雇用の場が少ない

## ★原発被害が加わる



# 沿岸の被災状況 (2011. 7. 25)

人的被害率 = (死者 + 行方不明者数) / 人口  
建物被害率 = 家屋倒壊棟数 / 人口

久慈

人的: 0% 建物: 0.7%

宮古

人的: 1.0% 建物: 7.9%

釜石

人的: 3.1% 建物: 9.4%

大槌町 人的: 10.2% 建物: 24%

大船渡

陸前高田

人的: 8.3% 建物: 14.3%

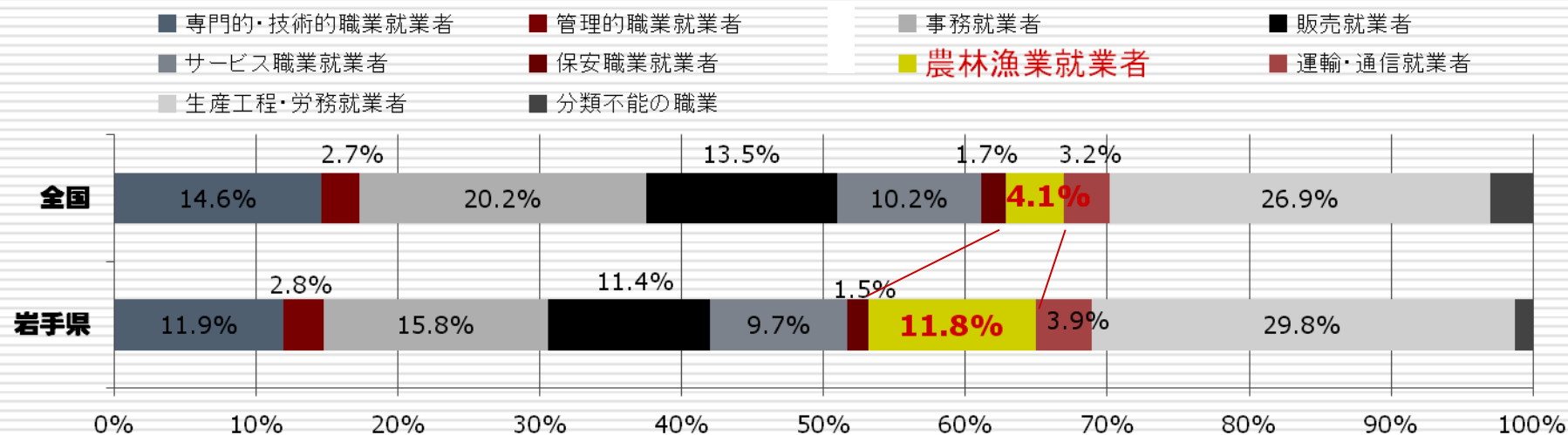
平泉

盛岡

遠野

# 岩手県の産業構造

「農林漁業就業者」は、全国平均**4.1%**に比べ、岩手県は**11.8%**と大きく上回る



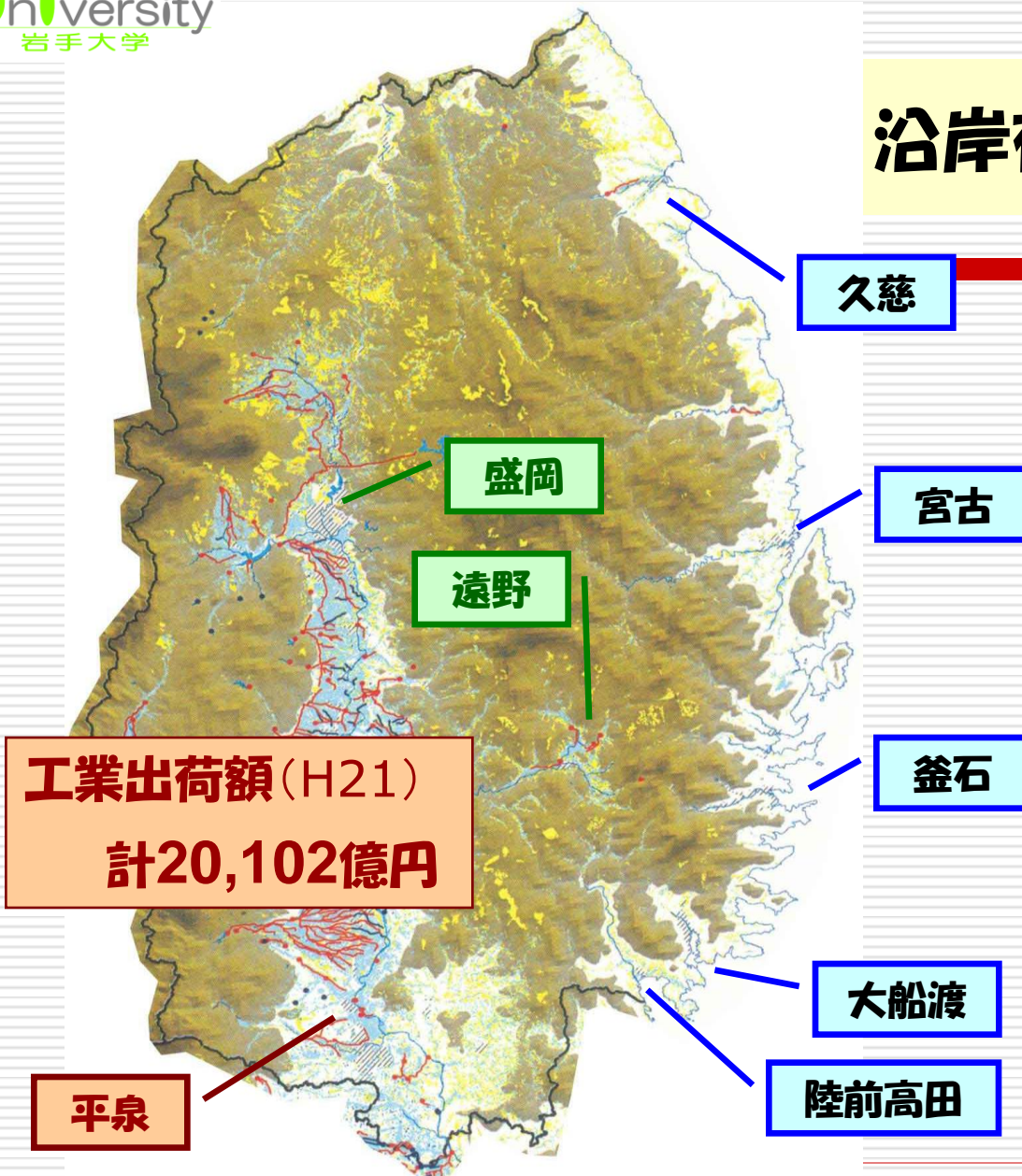
資料:総務省「就業構造基本調査」

## ▼従事者の高齢化も懸念、今後の産業担い手の確保が必須

漁業従業者の平均年齢(2007年)

	青森	岩手	宮城	福島	全国平均
漁業	59.3歳	57.1歳	56.5歳	58.9歳	55.6歳
全産業平均	45.8歳	46.4歳	43.7歳	45.6歳	44.5歳

# 沿岸被災地の経済社会状況



**工業出荷額 (H21)**  
**計20,102億円**

久慈

**所得水準 (一人当たり)**  
**指数 90.5 (H20年)**  
**減少率 ▲4.6% (H19→20)**

宮古

**人口減少率 (H12~H22)**  
**▲12.2% ⇔ ▲6.4% (県平均)**  
**高齢人口割合 (65才以上)**  
**32.9% ⇔ 22.4% (県央部)**

釜石

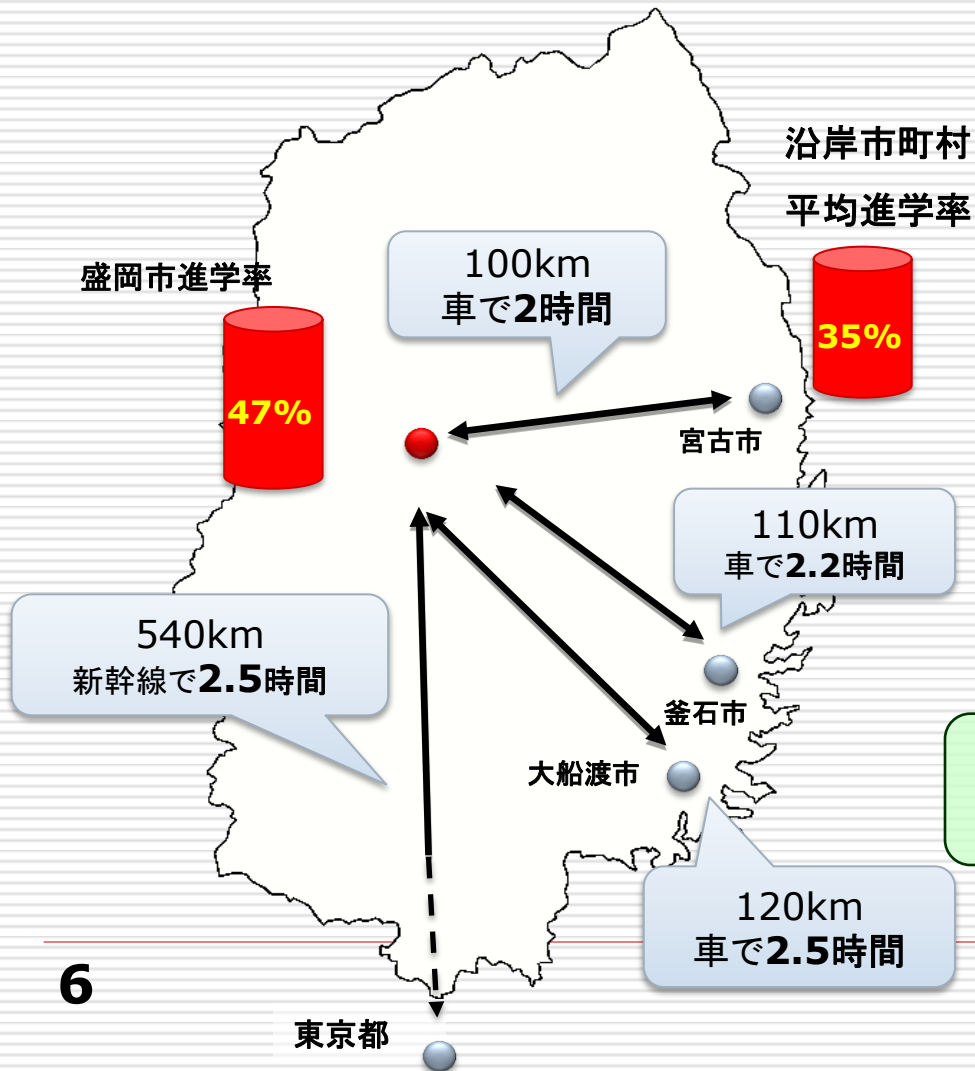
**農林水産生産額 (H20)**  
**計3,112億円**  
**《農:2,445 林:214 水産:453》**

大船渡

陸前高田

平泉

# 岩手県の大学進学率40% < 全国平均53% さらに沿岸被災地では..



## 地域間の格差拡大・定着

- ・地理的条件・交通事情
- ・産業構造(農林水産中心)
- ・社会構造(少子・高齢化..)
- ・教育のみならず、医療・福祉にも格差が

世帯間・世代間にも広がる..

震災がこれらを加速?!

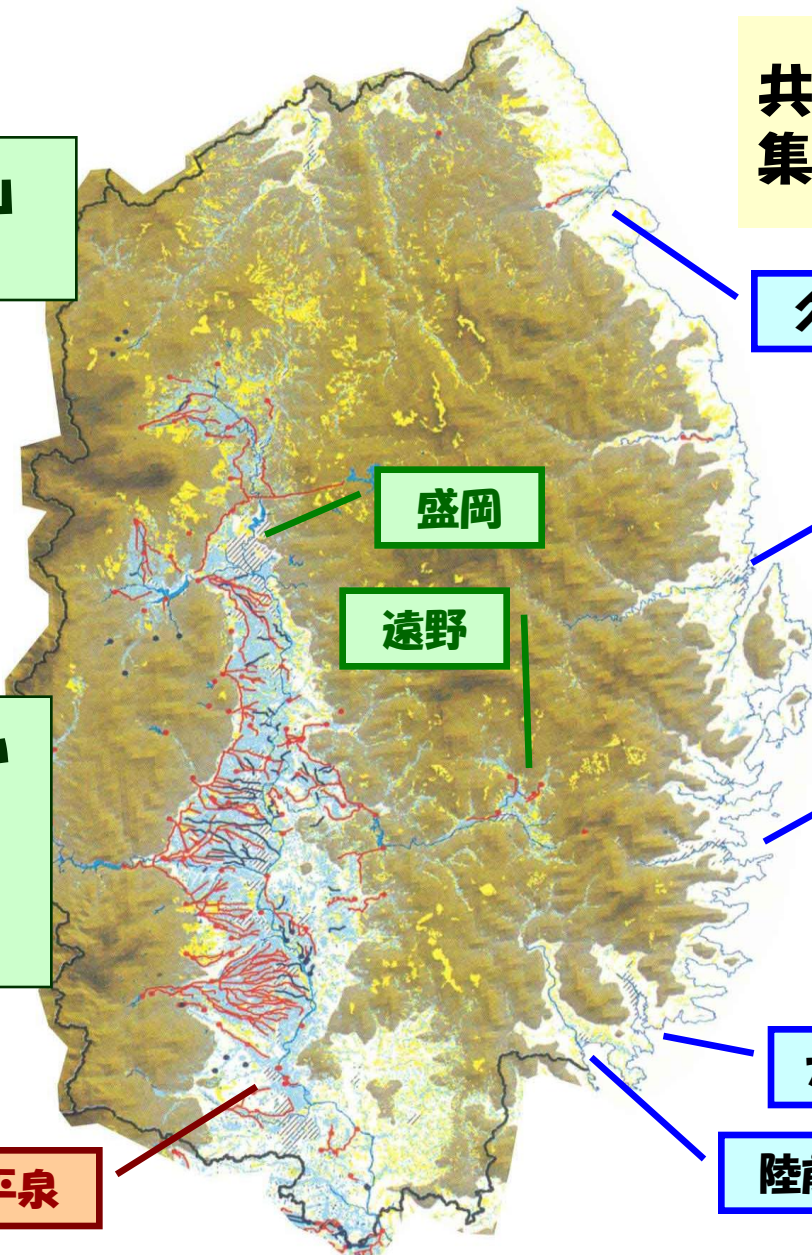


# 共有地・共有施設 (Commons) の 集落共同管理システム

林業: 里山  
入会地

久慈

伝統的



盛岡

宮古

漁業: 漁業権を漁協  
へ優先  
資源乱獲を防ぐ  
『共有地の悲劇』

遠野

釜石

農業: 水田かんがい施設  
水路網

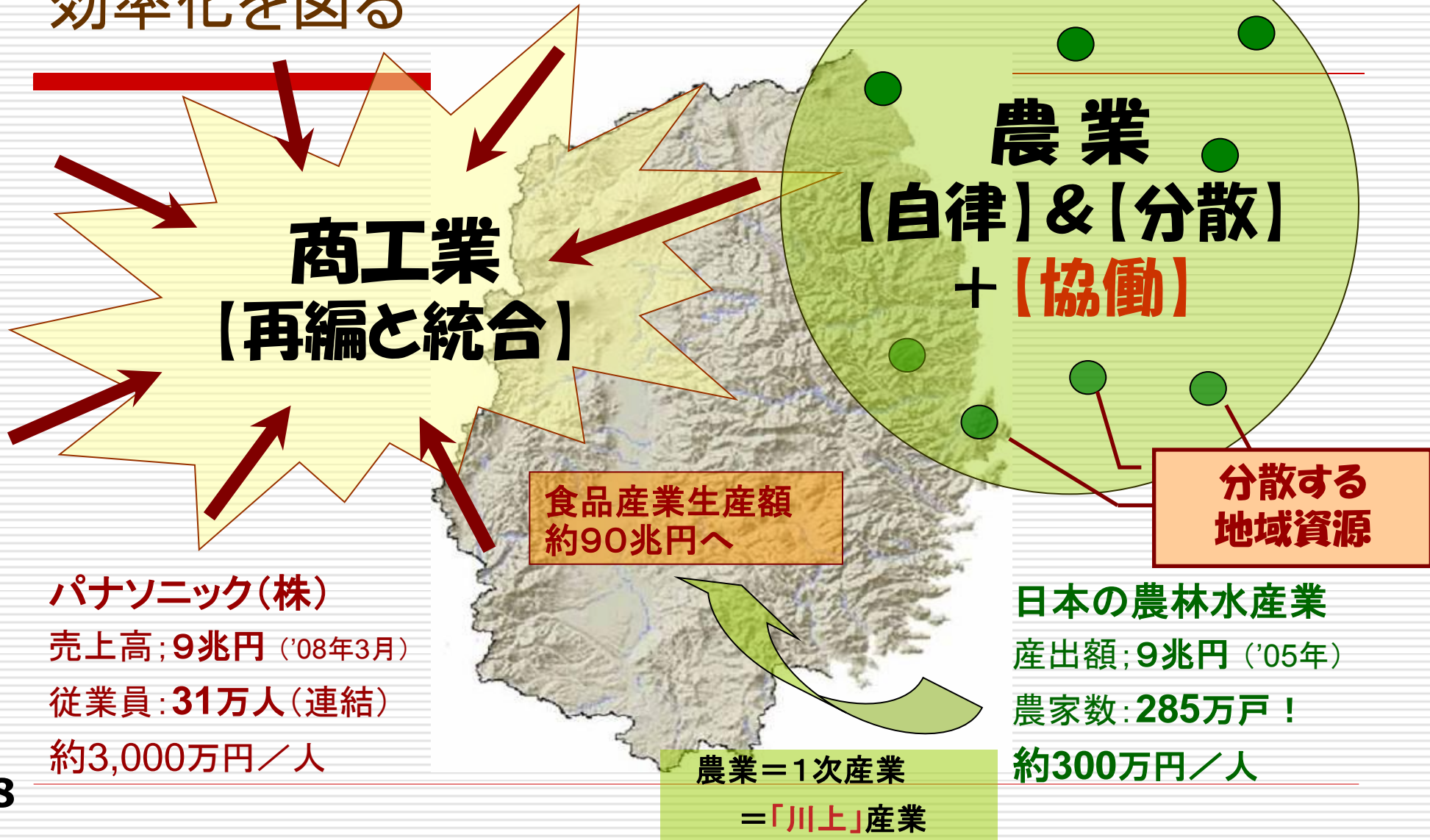
大船渡

農林水産業  
⇒ 地域立脚型産業

陸前高田

平泉

商工業は『選択と集中』で  
効率化を図る

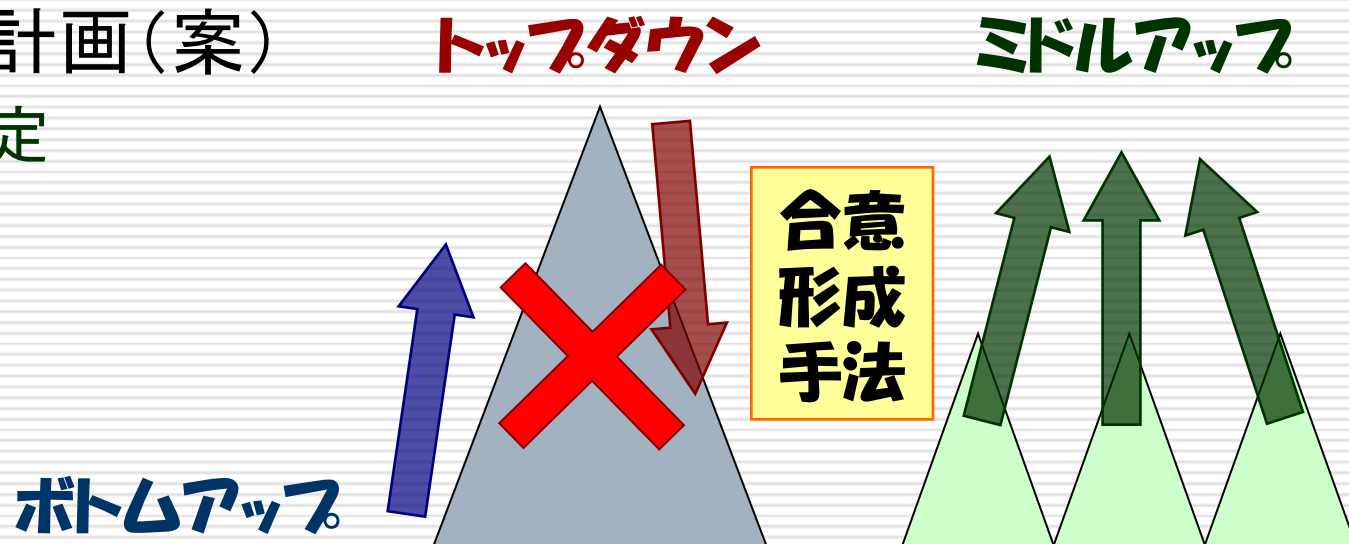


パナソニック(株)  
売上高; 9兆円 ('08年3月)  
従業員: 31万人(連結)  
約3,000万円/人

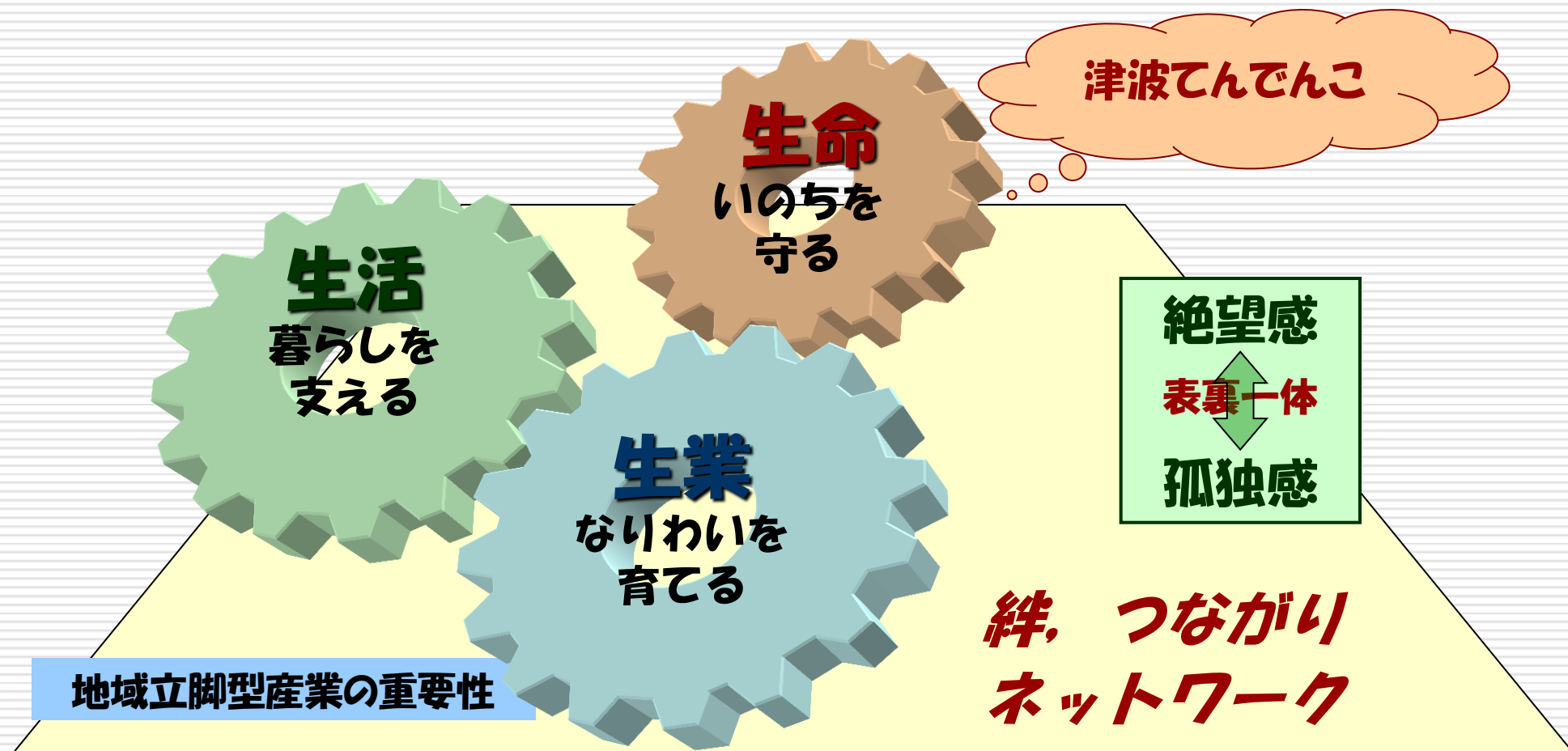


## 岩手県東日本大震災津波復興委員会(2011.4.11～)

- 各界(漁協、農協、医師会、建築士会、銀行協会、商工会議所、工業クラブ、社福協…)代表者19名
- オール岩手!老若男女..
- 復興基本計画(案)  
6月7日策定



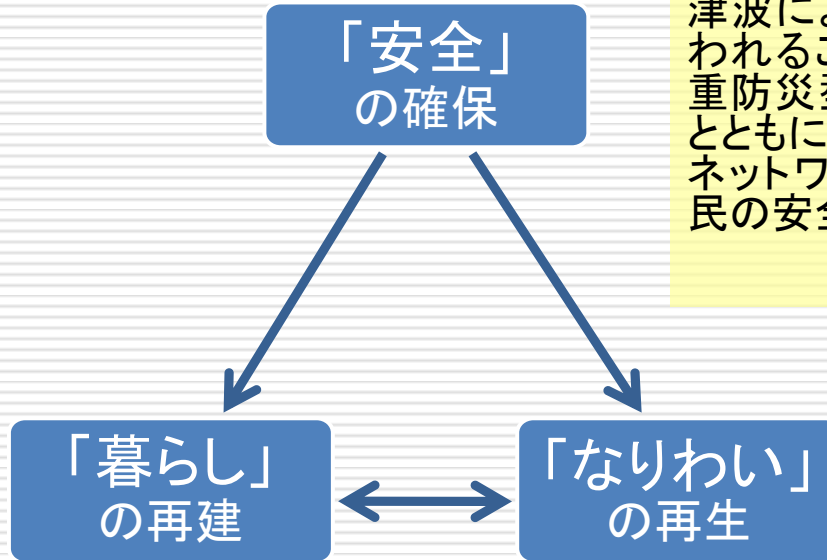
# 住民が個人でなく、 『コミュニティ』として立ち上がるために...



# 県復興委員会【3つの原則】

## 復興に向けた3つの原則

住宅の供給や仕事の確保など、地域住民それぞれの生活の再建を図る。  
さらに、医療・福祉・介護体制など、生命と心身の健康を守るシステムや教育環境の再構築、地域コミュニティ活動への支援などにより、地域の再建を図る。



津波により再び人命が失われることのないよう、多重防災型まちづくりを行うとともに、災害に強い交通ネットワークを構築し、住民の安全を確保する。

津波により再び人命が失われることのないよう、多重防災型まちづくりを行うとともに、災害に強い交通ネットワークを構築し、住民の安全を確保する。



# 大震災発生（'11.3.11）～岩手大学復興対策本部発足（'11.4.1）

茫然自失期 ⇒ 高揚期

Absent-Minded

- 地震発生直後  
⇒ 即時的対応

現実感希薄，感情劣化  
（恐怖，空腹...）

- 情報途絶 ⇒ 全体像  
把握困難

（交通、電力、通信）

猛々しさ+  
我慢, 忍従

「雨ニモ負ケズ...」  
をどう捉えるか？



## 社会システムの見直し、再検討...

- エネルギー使用 { 電気、ガソリン...  
ICT機器

分散型ローテクの強み

- 生産・物流でムダを省く: サプライチェーンの脆弱さ

- 選択と集中, 効率・一元化 ⇒ 格差の進行定着

東京~東北~盛岡~沿岸

- 自立・分散・連携・協働の重要性 **+補完, 代替**

{ “ムダ”の再評価(冗長性; Redundancy) “ゆとり” ⇒ 頑健さ  
多様性(Diversity)、コミュニティの重要さ

**適応力大, 反発性 (Resilience)あり**

# 復興に向けたまちづくりのランドデザイン

## 【津波防災の分類】

津波防災技術専門委員会

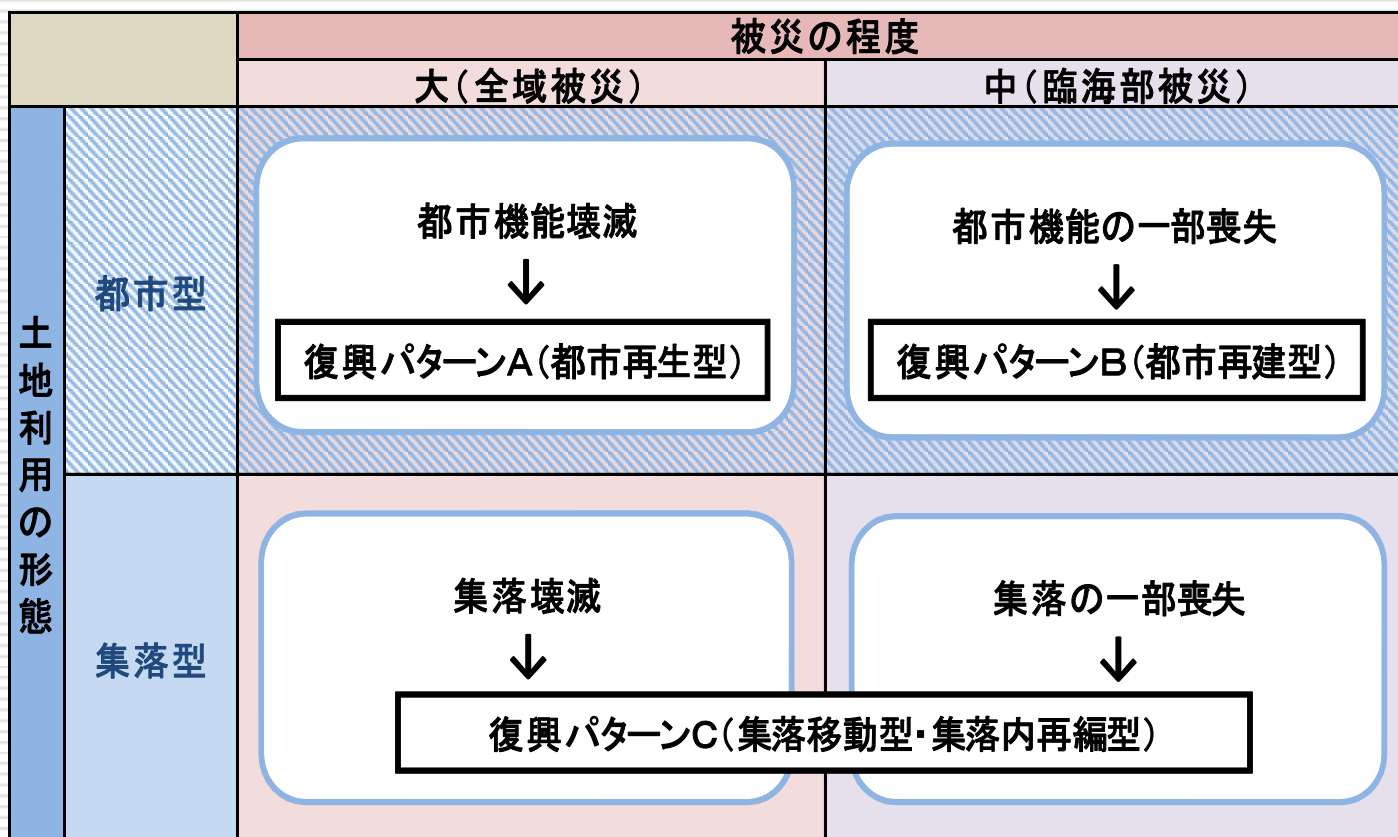
分類	回避型	分散型	抑制型
ねらい (巨大津波 に対して)	生命と財産を守る	生命を守り、財産の多 くを保全する	生命を守り、財産の壊 滅的被害を防ぐ
イメージ	<p>宅地造成 高所移転 被災集落 津波エネルギー</p>	<p>嵩上げ・高所移 転 再生市街地 分散 被災市街地 防災施設 津波エネルギー</p>	<p>嵩上げ・高所移 転 道路 再生市街地 鉄道 抑制 被災市街地 防災施設 津波エネルギー</p>



# まちづくりのランドデザインのモデル

【土地利用の形態と被災の程度による復興パターン】

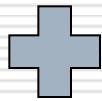
津波防災技術専門委員会



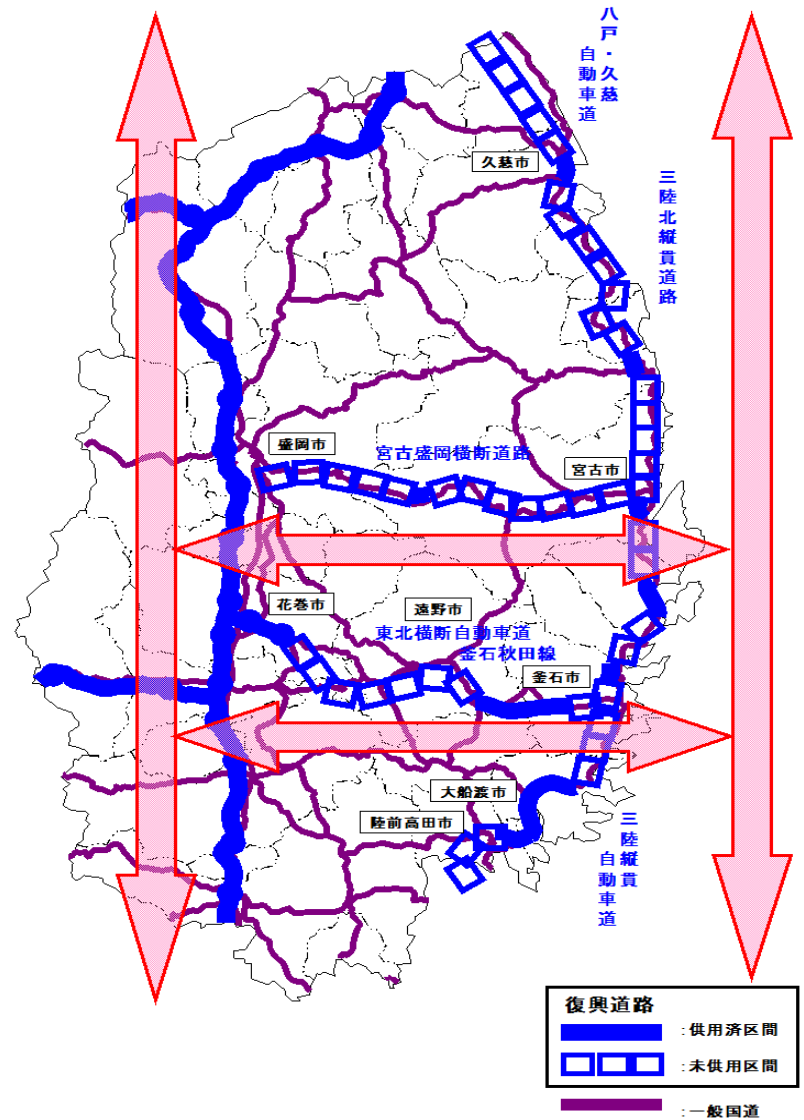
# 【「安全」の確保】

## 災害に強い交通ネットワーク の構築

高規格幹線道路 

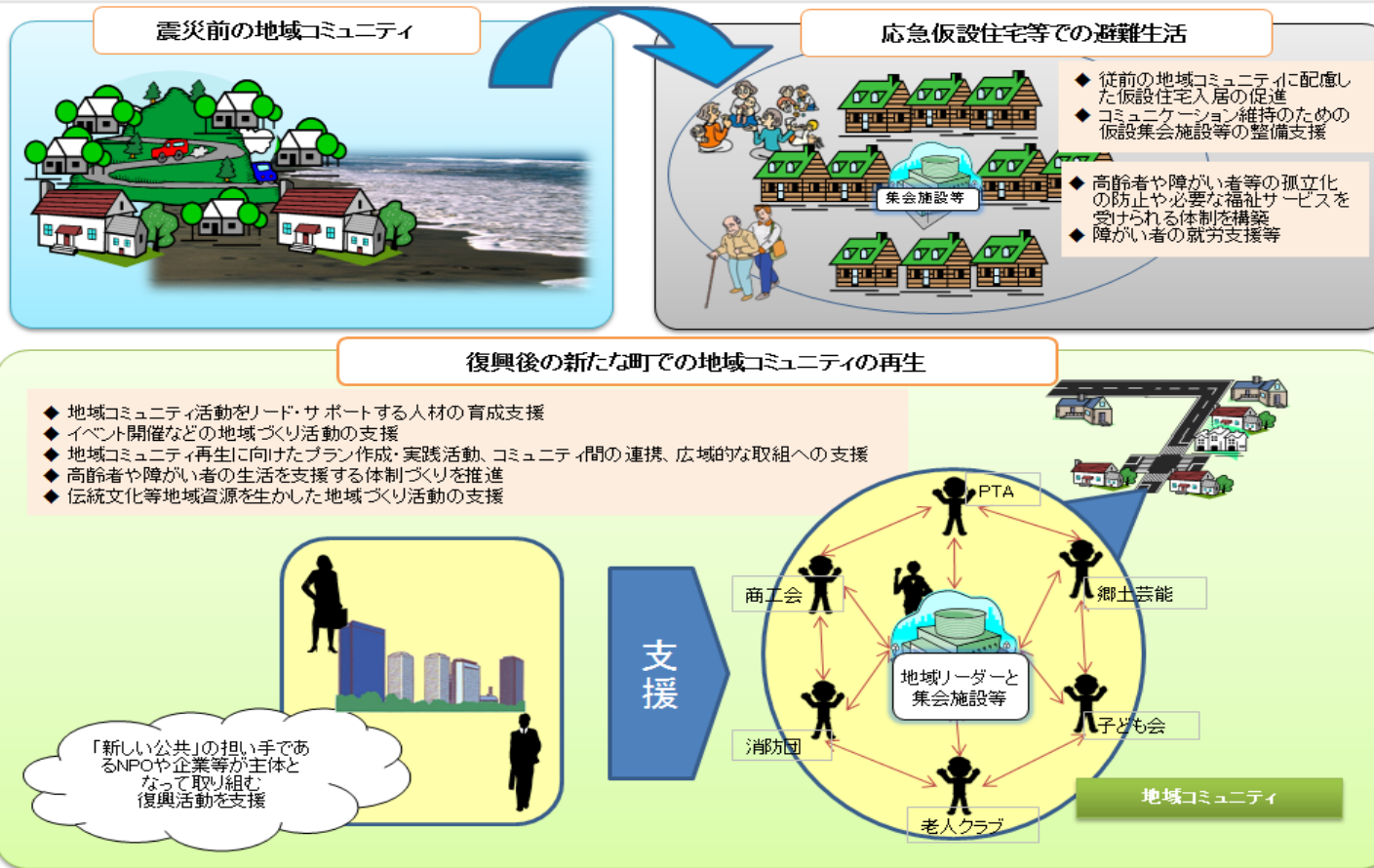


【補完】道路(国道、県道) 



# 【「暮らし」の再建】

## 地域コミュニティの再生・活性化





# 【「なりわい」の再生】

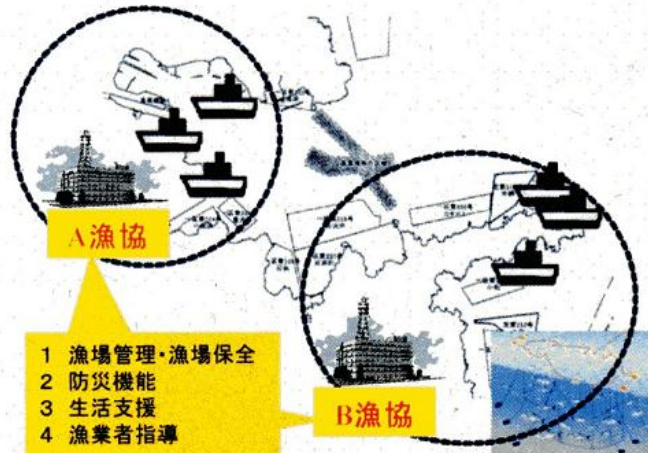
## 漁業協同組合を核とした漁業、養殖業の構築

### ◆ 漁業協同組合を核とした「共同利用システム」等の構築

#### ● 岩手県の特徴（被害状況等）

- 1 海面漁業・養殖業年間生産額に対する被害額が甚大
- 2 水産業の基盤となる設備・施設が壊滅的な状態
- 3 本県の漁業者は小規模経営体が多い
- 4 県下24漁協のうち、14漁協の事務所が流失・全壊

#### ● 沿岸集落の地域コミュニティは水産業を通じて形成



漁業協同組合  
一括整備



漁船、漁具、養殖施設、共同利用施設等



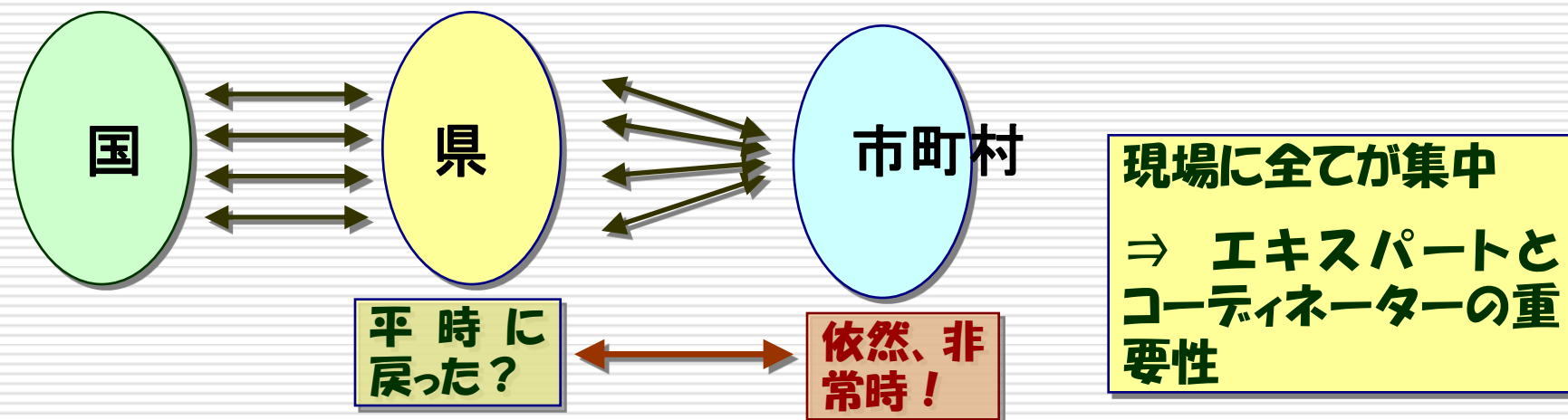
貸出

漁業者 漁業者 漁業者 漁業者 漁業者

共同利用システム等

# 復興に向けて、今後の課題 《1》

## □ 縦割り対応の弊害



### Ex. 仮設住宅建設【大量発注】+【短い工期】

⇒ 大手プレハブメーカーに大量発注

⇒ 地元業者への受注低し 2500戸 / 1万4000戸

全国 3万2800戸

## 復興に向けて、今後の課題《2》

### □ 生活不安の深刻化

『住宅再建』(移転先と負担額), 二重債務問題

⇒ 『仕事の確保』 ⇒ 『生活再建』

⇒ 地域産業の復興へ

移転先: 次第に  
安全性 ⇒ 利便性へ

### □ 地域コミュニティの再形成へ

仮設住宅入居: 抽選の場合..

《地域内意見集約》の難しさ

↑ 役員だけでなく、ダイバーシティの重要性

## 復興に向けて、今後の課題《3》

### □ 地域振興の先導的モデルとなるか・・・

『マイナス』からのスタート

高齢化社会を先取り

6次産業化＋観光業展開 ⇒ 地域立脚型産業の復興へ

再生可能エネルギーの利用

地域内需を高める

➡ 《地域コミュニティに基づく、参加型まちづくり》へ

大学の果たす役割は大きい



高さとパワーおいも パスワーク!



岩手大学は、今こそ  
「岩手の復興と再生」の拠点と  
なって、地域とともに歩みます



宮澤賢治



旧盛岡高等農林学校本館(重要文化財)